

附録2. 調査票及び記入の仕方

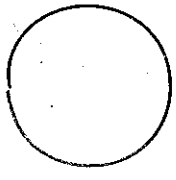
昭和23年事業所統計調査

事業所賃金調査票

総理庁統計局



11月1日



この調査票の記入にあたっては裏面の記入の仕方をよく読んでから記入して下さい。

この調査は、統計法に基づいて行われるものであります。従つて申告者の秘密を他に漏らすようなことのないのは勿論、個々の調査票はただ統計の目的の為にのみ用い、決して課税、物資の割当、労働関係法規違反の摘発等の為に用いることはありませんから、安心して事実をありのまま書いて下さい。

◎産業分類	産業大分類 番号及び名称			
	産業中分類 番号及び名称			
	産業小分類 番号及び名称			

破線の中は余白のままにして下さい。

指 定 統 計 号	2
※市区町村番号	
※調査区番号	
◎事業所番号	
◎規模符号	

毎月勤労統計調査の指定事業所となつていますか、 然否を○で囲んで下さい。	然	否
---	---	---

個人別賃金調査の指定事業所となつていますか、 然否を○で囲んで下さい。	然	否
--	---	---

鉱業では坑内、坑外、陸運業では乗務、非乗務の二枚の調査票を提出することとなつておりますからこの調査票がいずれのものか判ることに、下欄該当の文字を○で囲んで下さい。 鉱 業 陸 運 業 坑 内 坑 外 乗 務 非 乗 務

1 事業所	(イ) 名称					(ロ) (本所、支所の別 該当文字を○で 囲んで下さい。)	本 所 (本社、本店)
	(ハ) 所在地	都道府県	郡 市	区	町 村	番 地	支 所 (支社、支店)
	(ニ) 事業の内容	裏面の記入の仕方をよく読んでから、営業品目又は営業内容と業種について、具体的に詳しく記入して下さい。					

2 調査期間 (9月の最終賃金締切日の翌日より10月の最終賃金締切日までの期間を書いて下さい。)	(イ) 労務者	9月 日より 日間 10月 日まで	2欄の期間 3中の操業日 数
	(ロ) 職員	9月 日より 日間 10月 日まで	

4 常雇の従業者の人員、給与、労働日数及び労働時間 (裏面の記入の仕方をよく読んでから記入して下さい。この欄の数字の算出には、必ず未復員者、引継ぎ1か月以上の長期欠勤者を除いてから記入して下さい。)							
従業者の種類	10月の最終賃金締切日の現在人員	調査期間中の現金給与額			(ホ) 調査期間中の実物給与見積額	(ヘ) 総労働日数	(ト) 総労働時間
		(ロ) 毎月きまつて支給する現金給与額	(ニ) その他の現金給与額	(イ) 計			
労 務 者	男	人	円	円	円	日	時間
	女	人	円	円	円	日	時間
職 員	男	人	円	円	円		
	女	人	円	円	円		
計	人	円	円	円	円		

5 調査期間中の臨時日雇職員、労務者の総労働日数	男	日
	女	日
	計	日
	6 備考	(イ) 2欄の調査期間中に給与の改訂を実施した場合は、その割合又は金額を書いて下さい。 (ロ) その他の現金給与額を総額でかまいませんからその内容を書きこんで下さい。 (ハ) 操業日数が20日未満の場合は、その少なかった理由を書いて下さい。 (ニ) その他参考になることを書いて下さい。

事業所記入 担当者の印	事業主 又は代理者の印	調査員 印	市区町村長 印	労働基準局 係官検印	都道府県 主務者検印
----------------	----------------	----------	------------	---------------	---------------

◎産業大分類の 番号及び名称	◎産業中分類の 番号及び名称	◎産業小分類の 番号及び名称	本所・支所の別 (該当文字を○で 囲んで下さい。)	本 所 (本社、本店)	支 所 (支社、支店)
事業所の名称	事業所の所在地	4欄(イ)計の 現在人員			人

※印は市区町村長が記入し、◎印は調査員が記入しますから、事業主は記入には及びません。